

令和8年6月12日

報道機関 各位

あおもり移住・交流推進協議会事務局  
(青森県こども家庭部若者定着還流促進課)

青森暮らしサポートセンター等を利用して本県への移住を決定した人数について

あおもり移住・交流推進協議会は、移住相談窓口である「青森暮らしサポートセンター(東京・有楽町)」等を利用した相談者を対象に、アンケート調査を毎年実施しています。

この度、令和7年度の調査結果がまとまったので、下記のとおりお知らせします。

記

1 アンケート調査対象数

1,187組(うち有効回答数:289組)

<主な対象者>

- ①青森暮らしサポートセンターへの移住相談者及び求職登録者
- ②あおもり移住・交流推進協議会事務局への移住相談者
- ③県、あおもり移住・交流推進協議会が主催又は出展した移住イベントへの参加者

2 令和7年度の移住決定者数

81組122名(前年度比17組の増)

3 調査結果の概要(詳細は別添のとおり)

(1) 移住決定者の年代

20代から40代が全体の約7割

(2) 移住パターン

Uターンが全体の63%で、同行者がUターンや親が本県出身者であるIターンを含めると、全体の74.1%が本県にゆかりがある方々

(3) 移住を決定した理由(複数回答)

「自然に恵まれた環境で生活したい」・・・28世帯

「地元で暮らしたい」・・・27世帯

「新たな仕事をはじめたい」・・・27世帯

報道機関用提供資料	
担当課	こども家庭部 若者定着還流促進課
担当者	UIターン促進グループ 総括主幹 森田亜岐子
電話番号	直通:017-734-9174(内線:4346)
報道監	こども家庭部 次長 大山和也

<別添>

1 移住形態

移住形態	令和6年度			令和7年度		
	世帯数・割合	人数		世帯数・割合	人数	
単身	30	46.9%	30	57	70.4%	57
夫婦又はパートナー	18	28.1%	36	12	14.8%	24
夫婦+子	13	20.3%	48	9	11.1%	33
夫婦+親	0	0.0%	0	1	1.2%	3
本人+子	2	3.1%	6	1	1.2%	3
本人+親又は兄弟姉妹	1	1.6%	2	1	1.2%	2
計	64	100.0%	122	81	100.0%	122

2 主相談者の年代別

年代	令和6年度		令和7年度	
	世帯数	割合	世帯数	割合
20代	13	20.3%	14	17.3%
30代	22	34.4%	24	29.6%
40代	14	21.9%	20	24.7%
50代	11	17.2%	17	21.0%
60代	4	6.3%	6	7.4%
計	64	100.0%	81	100.0%

20代から40代の世帯件数  
 令和6年度：49組（76.6%）  
 令和7年度：58組（71.6%）

3 移住パターン別

移住パターン	令和6年度			令和7年度		
	世帯数・割合	人数		世帯数・割合	人数	
Uターン	39	60.9%	74	51	63.0%	69
Iターン（同行者がU）	8	12.5%	20	6	7.4%	22
Iターン（親が青森県出身）	5	7.8%	7	3	3.7%	4
Iターン	12	18.8%	21	21	25.9%	27
計	64	100%	122	81	100%	122

※

※本県にゆかりがある方・・・令和6年度：52組101名（81.2%） 令和7年度：60組95名（74.1%）

4 移住を決定した理由（複数回答）

理由	令和6年度	令和7年度
	世帯数	世帯数
自然に恵まれた環境で生活したい	17	28
地元で暮らしたい	19	27
新たな仕事をはじめたい	20	27
人が魅力的	10	18
都会での生活に疲れた	19	15
家族の介護のため	8	11
リモートワークが可能	3	5
子育て環境が魅力的	9	5
家業を継ぐため	2	2
結婚のため	5	1
定年退職のため	3	1
その他	12	23